

Accuphase

6-CHANNEL POWER AMPLIFIER

PX-600

6チャンネル完全独立、同一仕様のパワーアンプ（パラレル・ブッシュプル出力段により100W×6(8) \ 150W×6(4)）ブリッジ接続により300W×3(8)にグレードアップ。優れた音質と安定度を誇るカレント・フィードバック増幅回路。700VAのスーパーリング型大型トroidal・トランス。3個の大型アナログ・パワーメーター装備。





ハイエンドのマルチチャンネル・サラウンドを構築——完全独立・同一仕様の6chパワーアンプ・ユニット搭載、150W×6(4Ω) 100W×6(8Ω)の強力パワーを実現。700VAの大容量トロイダル・トランスによる強力電源部を装備。優れた高域特性をもつ『カレント・フィードバック増幅回路』を採用。ブリッジ接続により300W×3(8Ω)の大出力アンプにグレードアップ。

CX-260/PX-600は、ホームシアター用マルチチャンネル・サラウンドに対応、オーディオとビジュアルとの真の融合を目指し完成した、待望の本格的セパレート・アンプです。CX-260/PX-600には、アキュフェーズが長年にわたって蓄積したビュア・オーディオの技術とその感性、音に対するこだわりとノウハウの全てを投入しました。今までのオーディオだけのリビングの中にビジュアルを採り入れ、オーディオ・ファイルがビュア・オーディオと同等のクオリティで映像サラウンドを楽しむことができる製品です。コンサート・ホールやムービー・シアターで味わう感動をリビング・ルームで体験、新しい音楽・映像の楽しみを発見して、魅力あるハイエンドのホームシアター・ライフを満喫してください。

パワーアンプPX-600は、同一規格の高性能パワーアンプを6個搭載し、6チャンネルとも同一クオリティの音質、圧倒的な臨場感、雄大なスケールで躍動感溢れるサラウンドを満喫することができます。さらにブリッジ接続にして、計3チャンネルの大出力アンプにアップ・グレードすることができます。この組み合わせにより、1～6チャンネル仕様まで、さまざまな用途で使用可能となります。

6チャンネル完全独立した、同一性能のパワーユニットを搭載。1/2/3/4/5/6チャンネルの多用途仕様に対応

第1図がPX-600のブロック・ダイアグラムです。完全に独立した同一性能のパワーアンプ・ブロックを6個搭載、一台でDVDプレーヤーなど5.1chソフトのリアルな大迫力サラウンドを実現することができます。また2チャンネルずつの3ブロックがそれぞれブリッジ接続可能です。このため、ノーマル/ブリッジの任意の組み合わせにより、1～6チャンネル仕様まで多用途パワーアンプとして活用することができます。

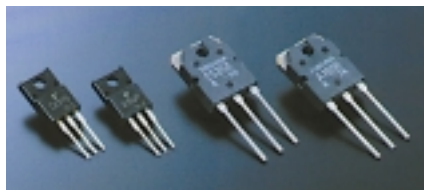


CX-260/PX-600は重ねて使用しないでください。

ビュア・オーディオとして通常のステレオ仕様、ブリッジ仕様、パイアンプ接続などに使用できます。更にマルチチャンネル・ディバイダーと組み合わせて、2Wayや3Wayマルチアンプ・システム、サブ・ウーファー方式などに発展させることもできます。

パラレル・プッシュプルの出力段による強力パワー。
6ch動作時：150W×6(4Ω)、100W×6(8Ω)
2ch動作時：220W×2(4Ω)、130W×2(8Ω)

出力素子は、周波数特性、電流増幅率リニアリティ、スイッチング等の諸特性に優れ、コレクター損失150W、コレクター電流15Aというハイパワートランジスターを採用しました。この素子をパラレル・プッシュプルで構成(第2図)し、アルミダイキャストによる巨大なヒートシンク上に取り付け、効率的な放熱処理をしています。

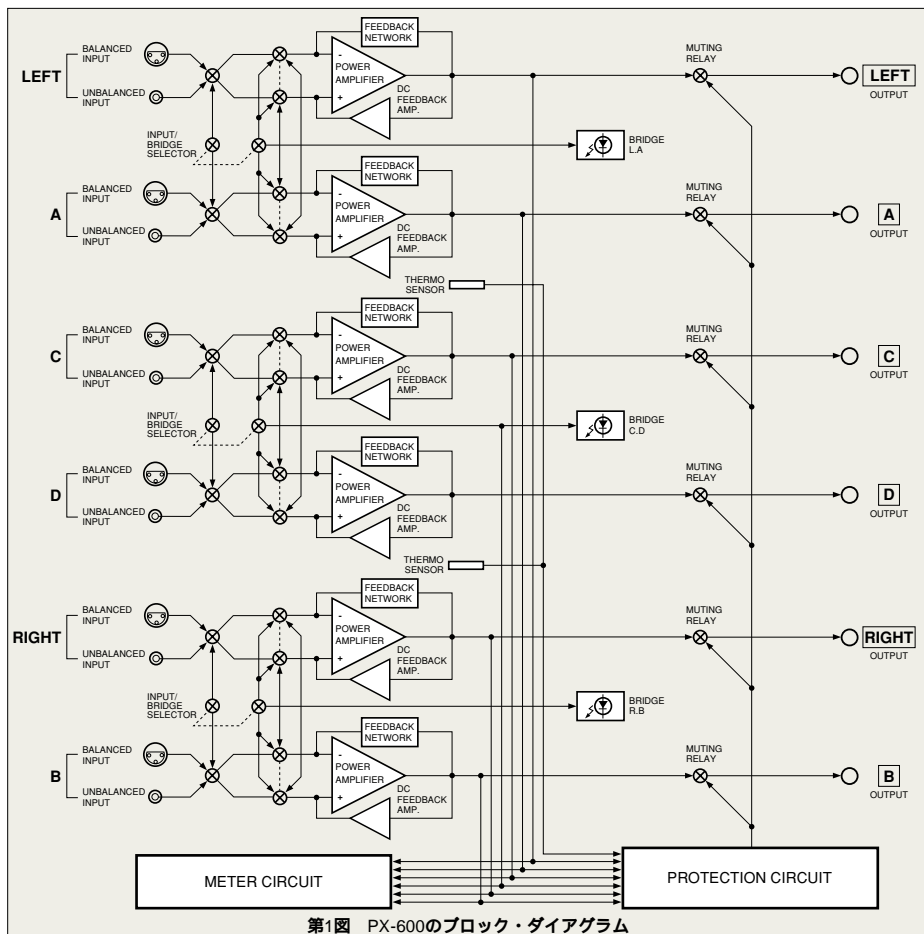
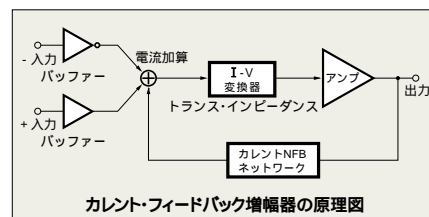


ブリッジ接続により大出力アンプにグレードアップ。
3chブリッジ：320W×3(6Ω)、300W×3(8Ω)
2chブリッジ：420W×2(6Ω)、350W×2(8Ω)

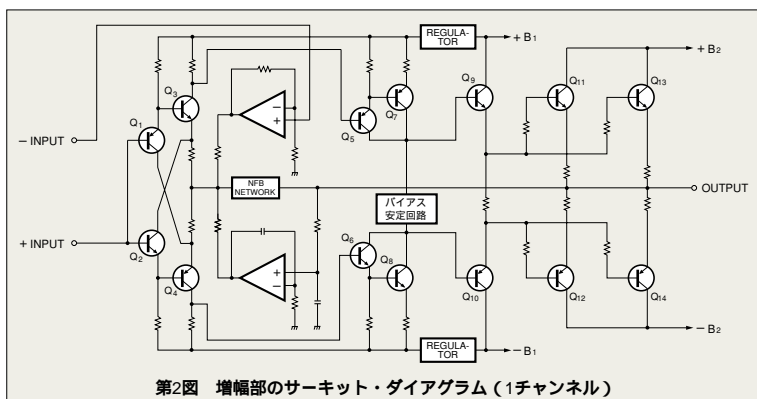
ブリッジ接続は、極性が異なる2つのアンプに、逆相信号を入力し、両アンプの出力端にスピーカーを接続します。ブリッジ接続により大出力アンプにグレードアップすることができ、一段と量感豊かなパワーを供給することができます。

高域の位相特性に優れた、カレント・フィードバック増幅回路

増幅回路方式は、出力信号を電流の形で帰還するカレント・フィードバック増幅回路を採用しました。この方式は、帰還入力部分のインピーダンスが極めて低いので、位相回転が発生しに



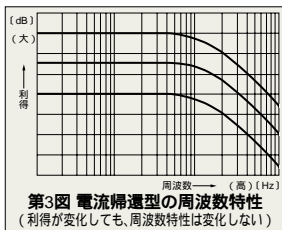
く、その結果位相補償の必要は殆どありません。このように、少量のNFBで諸特性を大幅に改善できるため、立ち上がり等の動特性に優れ、音質面でも自然なエネルギー応答を得ることが



第2図 増幅部のサーキット・ダイアグラム (1チャンネル)

できます。第3図に電流帰還増幅器の利得を変

化させた場合の周波数特性を示します。広い帯域にわたって一定の特性であることが分かります。



第3図 電流帰還型の周波数特性 (利得が変化しても、周波数特性は変化しない)

スーパーリング型巨大トロイダル・トランス、大容量フィルタ・コンデンサーによる強力電源部

電源部は全ての電力の供給源で、パワーアンプにとって重要な部分です。電源トランスは、約700VAの大電力容量トロイダル型を採用しました。さらに、熱伝導にすぐれ防振効果の高い充填材を用いてケースに固着、外部への影響を

完全に遮断します。トロイダル・トランスは、ドーナツ状のコアに太い銅線を巻くため、非常にインピーダンスが低く、小型で、変換効率が極めて高く大出力パワーアンプには不可欠な部品の一つです。特に、今回採用したスーパーリング型は、鉄芯の断面が円に近く、コイルも円形に近く巻け密着性が良いため、オーディオ用として優れた特性を備えています。また、フィルター用アルミ電解コンデンサーには、47,000 μ Fの超大容量を2個搭載、絶大な余裕度を誇ります。



■3個のアナログ式大型パワーメーター装備。切替で6chのパワー値を直読。メーターの動作と照明をON/OFFするスイッチも装備。

■大型スピーカー端子を装備

■外来誘導雑音を受けにくいバランス接続



バランス入力コネクター

2個のアルミ・ダイキャスト巨大ヒートシンクに取り付けられた、合計6チャンネル(1チャンネル当たりパラレル・プッシュプル出力段とカレント・フィードバック増幅部を搭載)のパワーアンプ・ユニット。

